

科学が好きな子どもを育てる教育実践・計画を募集する「ソニー子ども科学教育プログラム」
全国 193 校の小・中学校より選ばれた最優秀校

研究成果を発表する「子ども科学教育研究全国大会」開催
10月31日(金) 長野県富士見町立富士見中学校
— 「科学する心」を涵養する富士見中の学舎づくり 公開授業他 —

記念講演： 石田 秀輝氏（東北大学名誉教授、地球村研究室代表社員）

後援： 文部科学省、長野県教育委員会、長野県小中学校校長会 ほか

公益財団法人 ソニー教育財団(会長 中鉢良治)は、2013 年度「ソニー子ども科学教育プログラム」で「最優秀校」に選ばれた長野県富士見町立富士見中学校(校長:高山和夫/長野県)にて、「子ども科学教育研究全国大会」を開催します。

「ソニー子ども科学教育プログラム」は、ソニー創業者の井深大により 1959 年に始められ継続している教育助成活動です。昨年度、本プログラムの最優秀中学校に選ばれた富士見中学校は、暮らしの中での科学の重要性を理解し、生徒が実践的に社会に関わることを目指した点などが高く評価されました。本大会では、その実践の様子を、公開授業などを通じて全国の教育関係者のみなさまに広く紹介します。

また、東北大学名誉教授の石田 秀樹氏による記念講演「自然のすごさを賢く活かす、ものづくりと暮らし方のかたち—ネイチャー・テクノロジー—」、長野県富士見高等学校の高校生によるミツバチ養蜂やアツモリソウ保護に関する発表、同プログラムに上位入選した沖縄県や愛知県等の理科教諭によるポスターセッションなども予定しています。

昨年同長野県から最優秀校に選ばれ、今年6月に開催した諏訪市立中洲小学校の全国大会には、全国の教育関係者、地域や学校関係者を含め約 400 名が訪れました。

※最優秀論文全文はホームページでお読みいただけます
http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/result/science_2013/pdf/fujimi.pdf

※富士見中学校からのご案内は「第二次案内」をご覧ください
http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/taikai/pdf/2014/2014_fujimi_2nd.pdf



「ソニー子ども科学教育プログラム」最優秀校 全国大会(研究発表) 開催概要

長野県富士見町立富士見中学校 (長野県諏訪郡富士見町富士見 4654)

開催日時： 10月31日(金) 9:00~16:30

研究主題： 「科学する心」を涵養する富士見中の学舎づくり

～授業・環境・人で育む「科学する心」と「科学が好きな子ども」～

内 容： 研究発表、各学年各教科での授業公開、教師間の交流など

記念講演： 「自然のすごさを賢く活かす、ものづくりと暮らし方のかたち—ネイチャー・テクノロジー—」
石田 秀輝氏（東北大学名誉教授、地球村研究室代表社員）

主 催： 富士見中学校、ソニー教育財団、ソニー科学教育研究会

後 援： 文部科学省、長野県教育委員会、富士見町教育委員会、長野県小中学校校長会ほか

「ソニー子ども科学教育プログラム」最優秀賞 論文

長野県富士見町立富士見中学校

論文テーマ: 「科学する心」を育む富士見中の学舎づくり 「科学する心」で育む「科学が好きな子ども」

論文全文 (http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/result/science_2013/pdf/fujimi.pdf)

【審査講評】

「科学する心」を持った生徒を、単に理科の授業で扱う内容や、実験や観察が好きであるという段階にとどまらず、科学的に物事を考えることの有用性を実感し、暮らしの中での科学の重要性を理解し実践的に社会と関わっていけるようにしたいという願いは、学校全体で取り組んでいるキャリア教育の視点からの実践になっています。理科の授業中での学びが教科を超えた横断的な学びに繋がっています。具体的な理科の授業では、生徒一人一人の目線や体験に徹底してこだわり、生徒の科学的な見方・考え方を高めるための実践が展開されています。生徒の心を動かす教材や自然との出会い、生徒一人一人の学びや思いを見届ける教師の姿、生徒同士のふれあいや関わりを大事にした学びの場など、日ごろから実践を掘り下げてきていることが実感されました。明確な方針と計画に基づいた授業の充実ぶりがうかがえます。こうした生徒一人一人の成長を目指した「科学する心」を涵養するための取り組みは、たいへん優れたものであると判断しました。

■ソニー子ども科学教育プログラムとは

「科学が好きな子どもを育てる」を主題に、理科や生活科を中心とした教育の「実践」と「計画」を募集しています。毎年、約200校の全国の小学校・中学校から、学校での取り組みを論文にまとめてご応募いただいています。

元文部科学事務次官の御手洗康氏などにより、実践、考察・評価、次年度計画について審査します。予備審査・中間審査を経て、最優秀校など上位の入選候補校に関しては現地調査も行います。上位入選校は翌年、計画の実践とともに、全国の教育現場でその成果を共有できるよう、「子ども科学教育研究全国大会」を含む、主題に迫る取り組みの積極的な発信にご協力いただきます。

詳しくは、ホームページをご覧ください: <http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/guide/science.html>

■ソニー教育財団について

ソニー創業者の井深大は、その設立趣意書の中で「国民科学知識の実際的啓発活動」を目標に掲げています。日本の将来の発展を支える子どもたちが科学に関心を持ち、科学を好きになるには、小・中学校における理科教育が最も重要であると考え、1959年に「ソニー理科教育振興資金」の贈呈事業を始めました。この事業を継続的に発展させるため、1972年に「財団法人 ソニー教育振興財団」を設立。2000年には子どもたちの感性・創造性・主体性の育成を目指した「ソニー子ども科学教育プログラム」へと発展。これまでに延べ11,000校を超える応募があり、50年以上もの間、子どもたちの教育に創造的、先駆的な取り組みを行っている全国の小・中学校や先生方を支援してきました。



ソニー創業者 井深大

一方で、井深大は「人間の能力は“環境”によって作られる」との考えから、幼児教育の大切さを訴え、1969年に「財団法人 幼児開発協会」を設立し、その研究と実践を推進しました。2001年には2つの財団を統合して「財団法人 ソニー教育財団」を設立。2011年より「公益財団法人 ソニー教育財団」に移行し、今日に至ります。

<報道関係の問い合わせ先>

公益財団法人 ソニー教育財団 東京都品川区北品川 4-2-1

TEL:03-3442-1005 FAX:03-3442-1035 (担当 山下)

公式ホームページ: <http://www.sony-ef.or.jp/>

公式フェイスブック: <https://www.facebook.com/SonyEducationFoundation>